



いきいき かみかみ 百歳体操

5月25日、井ノ原集会所にて撮影



畑地区と井ノ原地区合同での「いきいき・かみかみ百歳体操」が、4月28日から、畑公民館と井ノ原集会所で始まりました。

畑地区は、平成30年11月から4人で百歳体操を実施していましたが、年々参加できる人が減り、昨年2人まで減少。一方の井ノ原地区は、3世帯5人のみの集落で、単独での百歳体操の実施が難しい地区でした。

今年3月、両地区を支援する集落支援員の働きかけにより、畑地区と井ノ原地区が合同で百歳体操を開始できるよう計画が進み、今回の取り組みが実現しました。毎週水曜日、お互いの会場（畑公民館・井ノ原集会所）を行き来して開催されます。

今後も、百歳体操だけでなくカレー作りなど、両地区の交流会が予定されています。

百歳体操と交流で 元気なからだづくりを

◆井ノ原集会所にのぼり旗を設置しました。赤い旗が目印です。



体操の後は
おいしいお菓子と
おしゃべりタイム♪

—参加者の声—

「人数が減って、体操が続けられなくなりどうしようかと不安に思っていました。今は、こうして他の地区の人と交流を深めながら体操ができて、うれしいです」
「運動した後に、お茶を飲みながらおしゃべりするのがとても楽しいです」

東京 2020 オリンピック聖火リレー

▶根雨小学校の校舎内からランナーを応援



第1走者
頭本花蓮さん



第6走者
野田柚月さん



第5走者
伊田忠人さん

▲次のランナーに聖火をつなぐトーチキス

5月21日、東京2020オリンピック聖火リレーが、根雨小学校グラウンドで行われました。

日野町では、第1走者を務めた頭本花蓮さん（下黒坂）から第5走者の伊田忠人さん（黒坂）を経て、第6走者の野田柚月さん（野田）まで、6人のランナーがグラウンドを1人1周ずつ走り、聖火をつなぎました。

校舎からは、町内の小中学校の児童生徒が手を振って応援する姿も。コースの外からも届く声援や横断幕での応援に、笑顔で応えながら駆け抜けました。

- 第1走者 頭本 花蓮
- 第2走者 長岡 真奈美
- 第3走者 藤原 有恭
- 第4走者 奥田 玲奈
- 第5走者 伊田 忠人
- 第6走者 野田 柚月

5月26日、青パイア実験ほ場（久住）で、青パイア苗の定植セレモニーが行われました。健康食材として近年注目されている青パイア。4月に地域おこし協力隊や有志によって「奥ひの青パイア研究会」が設立され、日野高校のアグリライフ系列の生徒などと共同で、栽培・販売方法の探究を進めています。今年度から、白ネギやピーマンなどに次ぐ町の特産物化を目指し、試験栽培が始まりました。

当日は、同研究会の会員6人や日野高生4人などが参加。研究会の川北皓貴会長から町長へ苗木の鉢植えが贈呈された後、研究会の会員から定植の説明を受けながら、根を液肥に浸した250株の苗木を、約20アールの農地に植えました。苗木は、研究会が種子から育苗したほか、倉吉農業高校などからも購入し、約500株を用意。「ベニテング」「フルーツタワー」など、5品種を栽培します。



日野高生らと青パイアの苗木を植え付け



「秋の収穫が待ち遠しい！」定植に参加した関係者

日野の地に「青パイア」
奥ひの青パイア定植セレモニー
新たな特産物化へ